

B：宮城県コース

匿名希望

今回ツアーに参加し、現地に行って直接見る、話を聞く、ということがより多くの人に必要だと思いました。

宮城に住んでいますと、震災・原発関連のニュースに接しない日はありません。いつの間にかそれが日々のニュースとして当たり前となり、仮設の問題や街をどのように復興させていくか等について知った気になっていました。宮城に住んでいてさえそうなので、他府県、または遠く西や南の方だと、さらに興味は失いつつあると思います。

しかし、写真で見ると実際にその場に立って見るのとは大違いでした。その場に立って、そこでの日々の暮らし、商売の様子を想像してみると、それらがなくなってしまった現実が胸に迫り、何も考えられなくなってしまいました。木の屋の木村社長のお話も、新聞で知ってはいても、目の前に、まさに問題を解決しようと実際に取り組んでおられる方がいると、この人の力になるにはどうすればいいのか、自分にできることを考えました。

私は関西出身ですので、実際に震災を経験した者として出身地の人々に積極的に語り、東北に足を運んでもらうこと、そして、私自身、東北産のものを購入するなど、ちいさなことでも行動に移していこうと思ったツアーでした。